

norikura_ymatsu_icrcnews

世界7箇所に設置された太陽中性子観測網により、第24太陽活動期で太陽中性子観測が行われている。共同研究経費は観測網の中心拠点である乗鞍観測所の太陽中性子望遠鏡の維持に使われた。第24太陽活動期は、平成26年2月に極大を迎え、それ以降下降線をだっていたが、平成29年9月には突然活発化し、平均すると1か月で1回程度しか起こらない規模の大型フレアが1か月で4回発生した。9月のフレアで太陽中性子は検出されなかったが、この太陽の活発化は、今後も起る可能性があり、今後とも観測を継続していきたい。なお、世界7箇所のうち、スイスの検出器は平成29年5月に観測を停止した。